

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年4月26日 (2012.4.26)

【公表番号】特表2011-512862(P2011-512862A)

【公表日】平成23年4月28日 (2011.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-017

【出願番号】特願2010-550253(P2010-550253)

【国際特許分類】

A 2 3 K 1/18 (2006.01)

A 2 3 K 1/14 (2006.01)

A 2 3 K 1/20 (2006.01)

【F I】

A 2 3 K 1/18 1 0 2 A

A 2 3 K 1/18 1 0 2 B

A 2 3 K 1/14

A 2 3 K 1/20

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月7日 (2012.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

養殖水産動物の飼育方法であって、  
水を吸収させた、タンパク質および脂質を含む飼料ペレットを、前記動物が飼育されている水中に給餌する工程を含み、  
前記ペレットが、バインダーとして、植物種子粉末を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

水産養殖飼料組成物の製造方法であって、  
タンパク質を含む飼料ペレットに、水を吸収させる工程を含み、  
前記ペレットが、バインダーとして、植物種子粉末を含むことを特徴とする方法。

【請求項 3】

さらに、前記タンパク質を含む飼料ペレットに、脂質を吸収させる工程を含む、請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

減圧して前記ペレットから空気を除去し、前記ペレットに水または水性液体を接触させることにより、前記ペレットに水を吸収させる請求項 2 または 3 記載の方法。

【請求項 5】

前記植物種子粉末が、穀物または豆類の粉末である請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記植物種子粉末が、小麦粉である請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

前記植物種子粉末が、エンドウ粉である請求項 5 記載の方法。

【請求項 8】

水を吸収させる前の前記ペレットのペレット固相密度が、380 g / L 以上である請求項

1 から 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記ペレットが、水および脂質を除く全ペレット重量に対して、前記植物種子粉末を 1 ～ 25 重量%の範囲で含む請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

前記ペレットが、水を除く全ペレット重量に対して、前記植物種子粉末を 1 ～ 18 重量%の範囲で含む請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

前記ペレットが、1 kg あたり 1 ～ 2 L の水を吸収可能である請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

さらに、バインダーとして植物種子粉末を含むタンパク質含有ペレットを含み、前記ペレットのペレット固相密度が、380 g / L 以上である水産養殖飼料組成物。

【請求項 13】

さらに、バインダーとして植物種子粉末を含むタンパク質含有ペレットを含み、前記植物種子粉末の含有量が、脂質および水の 1 ～ 25 重量%、または水以外の他のペレット成分の重量に対して、1 ～ 18 重量%である水産養殖飼料組成物。

【請求項 14】

さらに、バインダーとして植物種子粉末を含むタンパク質含有ペレットを含み、分解前の前記ペレットが、1 kg あたり 0.8 ～ 7 L の淡水を吸収可能である水産養殖飼料組成物。

【請求項 15】

請求項 12 から 14 のいずれか二項または三項に記載の組成物。

【請求項 16】

分解前の前記ペレットが、1 kg あたり 1 ～ 2 L の淡水を吸収可能である請求項 14 または 15 に記載の組成物。